

埼玉大学における令和4年度入試の主な変更点

【全体】

- 「帰国子女選抜」の名称を「帰国生徒選抜」に変更します。

【教養学部】

- 帰国子女選抜（令和4年度入試より帰国生徒選抜）において、学力検査として英語（一般選抜前期日程と同一問題）を新たに課します。

【経済学部】

- 令和3年度入試において中止した総合型選抜を令和4年度入試から実施します。なお、選抜は第1次選抜、最終選抜により実施します。

【教育学部】

- 一般選抜において、以下の募集単位で面接を新たに課します。
 - ・学校教育教員養成課程小学校コース実技系体育分野
 - ・学校教育教員養成課程中学校コース言語文化専修国語分野
 - ・学校教育教員養成課程中学校コース身体文化専修保健体育分野
- 令和3年度学校推薦型選抜において面接を中止した学校教育教員養成課程小学校コース実技系音楽分野及び中学校コース芸術専修音楽分野について、令和4年度入試では面接を課します。
- 私費外国人留学生選抜において、養護教諭養成課程の募集を取り止めます。

【理学部】

- 特段の変更はありません。

【工学部】

- 特段の変更はありません。

変更点は以上ですが、あくまでも予定ですので、詳細については、令和3年7月頃公表する「令和4年度入学者選抜に関する要項」にてご確認願います。

令和4年度（2022年度） 埼玉大学入学者選抜の実施教科・科目等について（予告）

【一般選抜】

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト		個別学力検査等		
		教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
教養学部 教養学科	前期	国語	国語	必須	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	左の7科目の中から2科目選択		
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	（※）「公民」から2科目選択はできません。		
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	左の「基礎を付した科目」から2科目選択又は「基礎を付していない科目」から2科目選択		
		外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕					
後期	前期日程と同じ		その他	小論文		

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
 (注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
 (注3) 今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
 (注4) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、令和3年7月頃に「令和4年度入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科等名	区分・日程	大学入学共通テスト		個別学力検査等		
		教科科目名等	利用方法	教科等	科目名等	
経済学部 (昼間コース) 経済学科	前期 (国際プログラム枠)	国語	国語	必須	その他	小論文
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の4科目の中から1科目選択		
		公民	『倫理, 政治・経済』			
		外国語	英語(リーディング及びリスニング)			
		[3教科3科目]				
	前期 (一般選抜枠)	国語	国語	必須	国語	国語総合・国語表現・現代文B(近代以降の文章)
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の5科目の中から2科目選択 (※)公民から2科目選択することはできません。	数学	数学I・数学II・数学A・数学B(数列, ベクトル)
		公民	現代社会, 『倫理, 政治・経済』			
		数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択	外国語	英語(コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II)
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
		[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]				
	上記の3教科から2教科選択します。					
	後期	前期日程(一般選抜枠)と同じ		その他	小論文	

- (注1) 経済学部(夜間主コース)は, 社会人選抜で募集します。(入学定員15人)
(注2) 「基礎を付した科目」とは, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎を指します。
(注3) 「基礎を付していない科目」とは, 物理, 化学, 生物, 地学を指します。
(注4) 今後の状況によっては, 変更する可能性もありますので, 埼玉大学ホームページをご確認ください。
(注5) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については, 令和3年7月頃に「令和4年度入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科等名			区分・日程		大学入学共通テスト			個別学力検査等	
					教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
教育学部	小学校 教育教員養成課程	文系	前期	国語	国語	必須	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）	
				地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択			
				公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択			
				理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 (※)「公民」から2科目選択はできません。			
				数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
				外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
				〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕					
	理系	前期	国語	国語	必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列、ベクトル）		
			地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択				
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択				
			理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 (※)「公民」から2科目選択はできません。				
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須				
			外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
			〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕						
教育学部	小学校 教育教員養成課程	理系	前期	理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	①物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学の4科目から1科目 ②物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎の4科目から1科目	理科	計2科目選択 ただし、①のグループから選択する科目の分野と②のグループから選択する科目の分野は異なること。	
				数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
				外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
				〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕					
				上記の2教科から1教科選択します。					

(注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。

(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。

(注3) 今後の状況によっては、変更する可能性がありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。

(注4) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、令和3年7月頃に「令和4年度入学者選抜に関する要項」にて公表します。

(注5) 教育学部は、後期日程の募集をしません。

学部・学科等名				区分・日程		大学入学共通テスト			個別学力検査等	
						教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
教育学部	小学校教育教員養成課程	実技系	音楽	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査	
					地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択			
					公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択			
					理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 (※)「公民」から2科目選択はできません。			
					数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須			
					外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
					〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕					
				関工	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査
						地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択		
						公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択		
						理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 (※)「公民」から2科目選択はできません。		
						数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
						外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
						〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				
				体育	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査
						地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択		
						公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択		
						理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 (※)「公民」から2科目選択はできません。		
						数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
						外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
						〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕				
				その他	面接(体育に関する口頭試問を含みます。)					

- (注1) 「基礎を付した科目」とは, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは, 物理, 化学, 生物, 地学を指します。
(注3) 今後の状況によっては, 変更する可能性もありますので, 埼玉大学ホームページをご確認ください。
(注4) 本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法等の詳細については, 令和3年7月頃に「令和4年度入学者選抜に関する要項」にて公表します。
(注5) 教育学部は, 後期日程の募集をしません。

学部・学科等名		区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等		
			教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部	中学校 教育教員養成課程	言語文化 (国語)	前期	国語	国語	必須	国語	国語総合・国語表現・現代文B・古典B
				地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から2科目選択 (※)「公民」から2科目選択はできません。		
				公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
				数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
				理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択		
				外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
				[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]				
		言語文化 (英語)	前期	国語	国語	必須	外国語	英語(コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II)
				地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択 ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択		
				公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
				理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 (※)「公民」から2科目選択はできません。		
				数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語			左の5科目の中から1科目選択				
[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]								
社会	前期	国語	国語	必須	その他	小論文		
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から2科目選択 (※)「公民」から2科目選択はできない。				
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』					
		数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須				
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択				
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
		[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]						

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
(注3) 今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
(注4) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、令和3年7月頃に「令和4年度入学者選抜に関する要項」にて公表します。
(注5) 教育学部は、後期日程の募集をしません。

学部・学科等名			区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等	
				教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
教育学部	中学校 教育教員養成課程	自然科学 (数学)	前期	国語	国語	必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B(数列、ベクトル)
				地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択		
				公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
				数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
				理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択		
				外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
				〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕				
	自然科学 (理科)	前期	国語	国語	必須	理科	①物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学の4科目から1科目 ②物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎の4科目から1科目 計2科目選択 ただし, ①のグループから選択する科目の分野と②のグループから選択する科目の分野は異なること。	
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択			
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択			
			外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕					

- (注1) 「基礎を付した科目」とは, 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは, 物理, 化学, 生物, 地学を指します。
(注3) 今後の状況によっては, 変更する可能性もありますので, 埼玉大学ホームページをご確認ください。
(注4) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については, 令和3年7月頃に「令和4年度入学者選抜に関する要項」にて公表します。
(注5) 教育学部は, 後期日程の募集をしません。

学部・学科等名		区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等		
			教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等	
教育学部	中学校 教育教員養成課程	芸術 (音楽)	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査
				地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択		
				公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択		
				理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 (※)「公民」から2科目選択はできません。		
				数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
				外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
		[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]						
		芸術 (美術)	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査
				地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択		
				公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択		
				理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 (※)「公民」から2科目選択はできません。		
				数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語			左の5科目の中から1科目選択				
[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]								
身体文化 (保健体育)	前期	国語	国語	必須	その他	実技検査		
		地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択				
		公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』	②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択				
		理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 (※)「公民」から2科目選択はできません。				
		数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須				
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目], [6教科8科目]								
					その他	面接(保健体育に関する口頭試問を含みます。)		

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
(注3) 今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
(注4) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、令和3年7月頃に「令和4年度入学選抜に関する要項」にて公表します。
(注5) 教育学部は、後期日程の募集をしません。

学部・学科等名			区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等	
				教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
教育学部	中学校 教育 教員 養成 課程	生活創造 (技術)	前期	国語	国語	必須	その他	面接（技術に関する口頭試問を含みます。）
				地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	左の「地歴及び公民」から1科目選択		
				公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
				数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須		
				理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	左の「基礎を付した科目」から2科目と「基礎を付していない科目」から1科目選択 又は「基礎を付していない科目」から2科目選択		
				外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
				〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕				
	生活創造 (家庭科)	前期	国語	国語	必須	外国語	英語(コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II)	
			地歴	世界史B, 日本史B, 地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』」から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目 又は「『基礎を付していない科目』」から2科目選択 ②左の「地歴及び公民」から2科目, 「理科」の「『基礎を付した科目』」から2科目 又は『基礎を付していない科目』から1科目 選択			
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
			理科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。			
			数学	数学I・数学A, 数学II・数学B	左の2科目必須			
			外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
			〔5教科7科目〕, 〔5教科8科目〕, 〔6教科7科目〕, 〔6教科8科目〕					

- (注1) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
(注2) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
(注3) 今後の状況によっては、変更する可能性がありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
(注4) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、令和3年7月頃に「令和4年度入学選抜に関する要項」にて公表します。
(注5) 教育学部は、後期日程の募集をしません。

学部・学科等名		区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等	
			教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
教育学部	乳幼児教育コース 学校教育教員養成課程	前期	国語	国語	必須	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）
			地歴	世界史B、日本史B、地理B	左の「地歴及び公民」から2科目選択 （※）「公民」から2科目選択はできません。		
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
			理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	左の「基礎を付した科目」から2科目又は「基礎を付していない科目」から1科目選択		
			外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕				
特別支援教育コース	前期	国語	国語	必須	外国語	英語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ）	
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択 ②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択			
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』				
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 （※）「公民」から2科目選択はできません。			
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
		外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
		〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕					
養護教諭養成課程	前期	国語	国語	必須	その他	面接（保健に関する口頭試問を含みます。）	
		地歴	世界史B、日本史B、地理B	①左の「地歴及び公民」から1科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない科目』から2科目」選択 ②左の「地歴及び公民」から2科目、「理科」の「『基礎を付した科目』から2科目又は『基礎を付していない科目』から1科目」選択			
		公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』				
		理科	物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学	上記の①若しくは②のパターンを選択します。 （※）「公民」から2科目選択はできません。			
		数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須			
		外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
		〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、〔6教科7科目〕、〔6教科8科目〕					

- （注1） 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。
（注2） 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。
（注3） 今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
（注4） 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、令和3年7月頃に「令和4年度入学選抜に関する要項」にて公表します。
（注5） 教育学部は、後期日程の募集をしません。

学部・学科等名		区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等	
			教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等
理学部	数学科	前期	国語	国語	必須	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ (数列, ベクトル)
			地歴	世界史Ⅰ, 世界史Ⅱ, 日本史Ⅰ, 日本史Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ	左の10科目の中から1科目選択		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
			数学	数学Ⅰ・数学Ⅳ, 数学Ⅱ・数学Ⅲ	左の2科目必須		
			理科	物理, 化学, 生物, 地学	左の4科目の中から2科目選択		
			外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択		
			〔5教科7科目〕				
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ (数列, ベクトル)	
		前期日程と同じ			理科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学から1科目を選択します。	
	物理学科	前期	国語	国語	必須	その他	総合問題(物理, 数学及び英語に関する総合問題を出題する。前提とする物理及び数学の知識は, それぞれ高等学校における物理基礎・物理及び数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ(数列, ベクトル)にわたります。また, 英語の読解力と記述力が要求されます。)
			地歴	世界史Ⅰ, 世界史Ⅱ, 日本史Ⅰ, 日本史Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ	左の10科目の中から1科目選択		
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
数学			数学Ⅰ・数学Ⅳ, 数学Ⅱ・数学Ⅲ	左の2科目必須			
理科			物理	必須			
			化学, 生物, 地学	左の3科目の中から1科目選択			
外国語			英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
〔5教科7科目〕							
後期		前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ (数列, ベクトル)	
		前期日程と同じ			理科	物理基礎・物理	
基礎化学科		前期	国語	国語	必須	個別学力検査等は課しません。	
			地歴	世界史Ⅰ, 世界史Ⅱ, 日本史Ⅰ, 日本史Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ	左の10科目の中から1科目選択		
	公民		現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』				
	数学		数学Ⅰ・数学Ⅳ, 数学Ⅱ・数学Ⅲ	左の2科目必須			
	理科		化学	必須			
			物理, 生物, 地学	左の3科目の中から1科目選択			
	外国語		英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択			
	〔5教科7科目〕						
	後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ⅳ・数学Ⅴ (数列, ベクトル)	
		前期日程と同じ			理科	物理基礎・物理, 化学基礎・化学から1科目を選択します。	

(注1) 今後の状況によっては, 変更する可能性もありますので, 埼玉大学ホームページをご確認ください。
(注2) 本学が指定する科目数を超えて受験した場合の成績採用方法等の詳細については, 令和3年7月頃に「令和4年度入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科等名		区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等			
			教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等		
理学部	分子生物学科	前期	国語	国語	必須	その他	面接（分子生物学や自然科学一般に関する口頭試問を含みます。）		
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択				
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』					
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B				左の2科目必須	
			理科	物理、化学、生物、地学	左の4科目の中から2科目選択				
			外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
			〔5教科7科目〕						
		後期	前期日程と同じ				数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（数列、ベクトル）	
							理科	物理基礎・物理と化学基礎・化学と生物基礎・生物から1科目を選択します。	
		生体制御学科	生体制御学科	前期	国語	国語	必須	その他	総合問題（生物学を中心とした自然科学的内容についての理解力、思考力、表現力等を総合的に評価します。）
					地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択		
					公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
					数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B			
					理科	物理、化学、生物、地学	左の4科目の中から2科目選択		
外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語				左の5科目の中から1科目選択				
〔5教科7科目〕									
後期	前期日程と同じ				その他	小論文			

(注1) 今後の状況によっては、変更する可能性がありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。
(注2) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、令和2年7月頃に「令和3年度入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科等名		区分・日程		大学入学共通テスト		個別学力検査等			
				教科科目名等		利用方法		教科等	科目名等
工学部	機械工学・システムデザイン学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用します。)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列, ベクトル)		
			地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択				
			公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』					
			数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須				
			理科	物理	必須	その他	小論文		
				化学, 生物, 地学	左の3科目の中から1科目選択				
			外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
		〔5教科7科目〕							
		後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列, ベクトル)		
						理科	物理基礎・物理		
		電気電子物理工学科		前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用します。)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列, ベクトル)
					地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択		
					公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
					数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
理科	物理				必須	その他	小論文		
	化学, 生物, 地学				左の3科目の中から1科目選択				
外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語				左の5科目の中から1科目選択				
〔5教科7科目〕									
後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列, ベクトル)				
				理科	物理基礎・物理				
情報工学科				前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用します。)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列, ベクトル)
					地歴	世界史A, 世界史B, 日本史A, 日本史B, 地理A, 地理B	左の10科目の中から1科目選択		
					公民	現代社会, 倫理, 政治・経済, 『倫理, 政治・経済』			
					数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
		理科	物理, 化学, 生物, 地学		左の4科目の中から2科目選択	その他	小論文		
		外国語	英語(リーディング及びリスニング), ドイツ語, フランス語, 中国語, 韓国語		左の5科目の中から1科目選択				
		〔5教科7科目〕							
		後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B (数列, ベクトル)		
						理科	物理基礎・物理		

(注1) 今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。

(注2) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、令和3年7月頃に「令和4年度入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科等名		区分・日程	大学入学共通テスト			個別学力検査等			
			教科科目名等		利用方法	教科等	科目名等		
工学部	応用化学科	前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用します。)	その他	総合問題（化学に関する知識、理解力、論理的思考力、計算力、及び英語読解力等を総合的に評価します。）		
			地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択				
			公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』					
			数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須				
			理科	化学	必須				
				物理、生物	左の2科目の中から1科目選択				
			外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語	左の5科目の中から1科目選択				
		〔5教科7科目〕							
		後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（数列、ベクトル）		
			前期日程と同じ			理科	化学基礎・化学		
		環境社会デザイン学科		前期	国語	国語	必須 (近代以降の文章のみ利用します。)	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（数列、ベクトル）
					地歴	世界史A、世界史B、日本史A、日本史B、地理A、地理B	左の10科目の中から1科目選択		
					公民	現代社会、倫理、政治・経済、『倫理、政治・経済』			
					数学	数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B	左の2科目必須		
理科	物理				必須				
	化学、生物、地学				左の3科目の中から1科目選択				
外国語	英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語				左の5科目の中から1科目選択				
〔5教科7科目〕									
後期	前期日程と同じ			数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（数列、ベクトル）				
	前期日程と同じ			理科	物理基礎・物理				

(注1) 今後の状況によっては、変更する可能性もありますので、埼玉大学ホームページをご確認ください。

(注2) 本学が指定する科目数を超過して受験した場合の成績採用方法等の詳細については、令和3年7月頃に「令和4年度入学者選抜に関する要項」にて公表します。

学部・学科	推薦要件	選抜方法	備考
教養学部	<p>教養学科</p> <p>1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公私立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校，文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。） 推薦できる者の数は，1校につき1名とします。</p> <p>2 推薦対象者 以下の各条件を満たす者とします。 （1）高等学校の学習成績が優秀であり，学校長が責任を持って推薦できる者 （2）令和3年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者で，合格した場合に入学を確約できる者 （3）調査書の全科目の評定平均値が4.3以上の者</p> <p><出願上の留意事項> （1）国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは，1つの大学・学部です。 （2）学校推薦型選抜に推薦された志願者は，国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し，受験することができます。ただし，学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は，「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>大学入学共通テストを免除し，学校長からの推薦書，志望の理由，調査書，面接及び小論文によります。</p> <p>【志望の理由】 教養学部教養学科を志望する理由を自由に記述してください。面接の際の資料とします。</p>	<p>(注) 出願の時期は，11月上旬を予定しています。</p>

学部・学科	推薦要件	選抜方法	備考
教育学部	<p>1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公私立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。） 推薦できる者の数は、各募集単位とも1校につき2名以内とします。ただし、学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）及び中学校コース身体文化専修保健体育分野は、1校につき1名までとします。</p> <p>2 推薦対象者 次の各条件を満たす者とします。 (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者 (2) 令和3年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者 ただし、学校教育教員養成課程小学校コース（音楽教育に関心を持つ者）、小学校コース（図画工作教育に関心を持つ者）、小学校コース（家庭科教育に関心を持つ者）、中学校コース芸術専修音楽分野、中学校コース芸術専修美術分野及び中学校コース生活創造専修家庭科分野においては、平成31年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者。学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）においては、令和2年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者。 (3) 合格した場合に入学を確約できる者 学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましいです。 養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましいです。</p> <p><注意事項> (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。 (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由、面接及び大学入学共通テスト【科目については(注2)】によります。</p> <p>【志望の理由】 教育への関心・問題意識及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述してください。</p>	<p>(注1) 「志望の理由」は、該当する課程・コース・専修・分野等に関する志望の理由及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述してください。</p> <p>(注2) 国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A」又は「数学Ⅱ・数学B」、理科（「『基礎を付した科目』から2科目」又は「『基礎を付していない科目』から1科目」）、外国語【英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目】</p>
学校教育教員養成課程 小学校コース (国語教育に関心を持つ者) (家庭科教育に関心を持つ者)	<p>(3) 合格した場合に入学を確約できる者 学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましいです。 養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましいです。</p> <p><注意事項> (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。 (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、小論文、面接及び大学入学共通テスト【科目については(注2)】によります。</p> <p>【面接】 家庭科教育に関心を持つ者は、家庭科に関する口頭試問を含みます。</p>	<p>(注3) 国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、理科（「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない』から2科目」）、外国語【英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目】</p>
学校教育教員養成課程 小学校コース (心理学・教育実践学に関心を持つ者) (英語教育に関心を持つ者) (社会科教育に関心を持つ者) (算数教育に関心を持つ者) (理科教育に関心を持つ者) (ものづくりと情報教育に関心を持つ者)	<p>(3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、面接及び大学入学共通テスト【科目については(注2)】によります。</p> <p>【面接】 心理学・教育実践学に関心を持つ者は、心理学・教育実践学に関する口頭試問を含みます。 英語教育に関心を持つ者は、英語に関する口頭試問を含みます。 社会科教育に関心を持つ者は、社会科に関する口頭試問を含みます。 算数教育に関心を持つ者は、算数・数学に関する口頭試問を含みます。 理科教育に関心を持つ者は、理科に関する口頭試問を含みます。 ものづくりと情報分野に関心を持つ者は、ものづくりと情報に関する口頭試問を含みます。</p>	<p>(注4) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。</p> <p>(注5) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。</p> <p>(注6) 出願の時期は、11月上旬を予定しています。</p>
学校教育教員養成課程 小学校コース (音楽教育に関心を持つ者)		<p>学校長からの推薦書、調査書、面接、実技検査及び大学入学共通テスト【科目については(注2)】によります。</p> <p>【実技検査科目】 1. 唱歌等の、ピアノ伴奏による弾き歌い。曲は「令和4年度 特別選抜学生募集要項」で指定します。 2. 「ハノンピアノ教則本」のNo.39より、「令和4年度 特別選抜学生募集要項」に記載の調の中から検査当日指定されます。 3. 次の中からひとつを選択して演奏します。 声楽、ピアノ、フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス</p>	
学校教育教員養成課程 小学校コース (図画工作教育に関心を持つ者)		<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由(注1)、高等学校卒業後の経歴書(既卒者のみ)、面接、実技検査及び大学入学共通テスト【科目については(注2)】によります。</p> <p>【実技検査科目】 水彩画 【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊(※)を持参してください(大型作品で持参することが不可な場合は、写真でも構いません)。 ※作品ファイル=受験者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル</p>	

学部・学科	推薦要件	選抜方法	備考
教育学部	<p>1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公私立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。） 推薦できる者の数は、各募集単位とも1校につき2名以内とします。ただし、学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）及び中学校コース身体文化専修保健体育分野は、1校につき1名までとします。</p> <p>2 推薦対象者 次の各条件を満たす者とします。 (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者 (2) 令和3年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者 ただし、学校教育教員養成課程小学校コース（音楽教育に関心を持つ者）、小学校コース（図画工作教育に関心を持つ者）、小学校コース（家庭科教育に関心を持つ者）、中学校コース芸術専修音楽分野、中学校コース芸術専修美術分野及び中学校コース生活創造専修家庭科分野においては、平成31年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者。学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）においては、令和2年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者。 (3) 合格した場合に入学を確約できる者 学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましいです。 養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましいです。</p> <p><注意事項> (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。 (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、スポーツ活動に関する調査書、面接、実技検査及び大学入学共通テスト【科目については（注2）】によります。</p> <p>【実技検査科目】 陸上競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ダンスの中から1項目選択し、受験してください。 なお、陸上競技の種目は出願時に申告してもらいますが、荒天の場合、屋内において申告したものと異なる内容を課すことがあります。</p>	<p>（注1）「志望の理由」は、該当する課程・コース・専修・分野等に関する志望の理由及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にまとめて記述してください。</p> <p>（注2）国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A」又は「数学Ⅱ・数学B」、理科（「『基礎を付した科目』から2科目」又は「『基礎を付していない科目』から1科目」）、外国語【英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目】</p>
学校教育教員養成課程 中学校コース 言語文化専修 国語分野 生活創造専修 家庭科分野	<p>(3) 合格した場合に入学を確約できる者 学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましいです。 養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましいです。</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接によります。</p> <p>【面接】 家庭科分野は、家庭科に関する口頭試問を含みます。</p>	<p>（注3）国語、「地歴及び公民」から1科目、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、理科（「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない』から2科目」）、外国語【英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目】</p>
学校教育教員養成課程 中学校コース 言語文化専修 英語分野 社会専修	<p><注意事項> (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。 (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト【科目については（注2）】によります。</p> <p>【面接】 英語分野は、英語に関する口頭試問を含みます。 社会専修は、社会科に関する口頭試問を含みます。</p>	<p>（注4）「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。</p>
学校教育教員養成課程 中学校コース 自然科学専修 数学分野 理科分野 生活創造専修 技術分野	<p><注意事項> (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。 (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接及び大学入学共通テスト【科目については（注3）】によります。</p> <p>【面接】 数学分野は、数学に関する口頭試問を含みます。 理科分野は、理科に関する口頭試問を含みます。 技術分野は、技術に関する口頭試問を含みます。</p>	<p>（注5）「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。</p> <p>（注6）出願の時期は、11月上旬を予定しています。</p>
学校教育教員養成課程 中学校コース 芸術専修 音楽分野	<p><注意事項> (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。 (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、面接、実技検査によります。</p> <p>【実技検査科目】 1. 唱歌等の、ピアノ伴奏による弾き歌い。曲は「令和4年度 特別選抜学生募集要項」で指定します。 2. 「ハノンピアノ教則本」のNo. 39より、「令和4年度 特別選抜学生募集要項」に記載の調の中から検査当日指定されます。 3. 次の中からひとつを選択して演奏します。 声楽、ピアノ、フルート、リコーダー、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス</p>	<p>（注7）「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。</p>

学部・学科	推薦要件	選抜方法	備考
教育学部	<p>1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。） 推薦できる者の数は、各募集単位とも1校につき2名以内とします。ただし、学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）及び中学校コース身体文化専修保健体育分野は、1校につき1名までとします。</p> <p>2 推薦対象者 次の各条件を満たす者とします。 (1) 高等学校の学習成績が優秀であり、学校長が責任を持って推薦できる者 (2) 令和3年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者 ただし、学校教育教員養成課程小学校コース（音楽教育に関心を持つ者）、小学校コース（図画工作教育に関心を持つ者）、小学校コース（家庭科教育に関心を持つ者）、中学校コース芸術専修音楽分野、中学校コース芸術専修美術分野及び中学校コース生活創造専修家庭科分野においては、平成31年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者。学校教育教員養成課程小学校コース（体育教育に関心を持つ者）においては、令和2年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者。 (3) 合格した場合に入学を確約できる者 学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましいです。 養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましいです。</p> <p><注意事項> (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。 (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、面接、実技検査によります。</p> <p>【実技検査科目】 水彩画 【面接】 面接にあたって、制作した代表作品1点と、作品ファイル1冊（※）を持参してください（大型作品で持参することが不可能な場合は、写真でも構いません）。※作品ファイル=受験者本人が制作した作品の写真・スケッチ等のファイル</p>	<p>(注1) 「志望の理由」は、該当する課程・コース・専修・分野等に関する志望の理由及び大学入学後の抱負について、本人が自分の考えを600字以内にとまとめて記述してください。</p> <p>(注2) 国語、「地歴及び公民」から1科目、「数学Ⅰ・数学A」又は「数学Ⅱ・数学B」、理科（「『基礎を付した科目』から2科目」又は「『基礎を付していない科目』から1科目」）、外国語【英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目】</p>
学校教育教員養成課程 中学校コース 身体文化専修 保健体育分野	<p>(3) 合格した場合に入学を確約できる者 学校教育教員養成課程の推薦対象者は、教員志望者が望ましいです。 養護教諭養成課程の推薦対象者は、養護教諭志望者が望ましいです。</p> <p><注意事項> (1) 高等学校既卒者は、できるだけ早い時期に推薦希望を出身高校に願い出てください。 (2) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (3) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、スポーツ活動に関する調査、小論文、面接及び実技検査によります。</p> <p>【実技検査科目】 陸上競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ダンスの中から1項目選択し、受験してください。 なお、陸上競技の種目は出願時に申告してもらいますが、荒天の場合、屋内において申告したものと異なる内容を課すことがあります。</p>	<p>(注3) 国語、「地歴及び公民」から1科目、数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B、理科（「『基礎を付した科目』から2科目と『基礎を付していない科目』から1科目」又は「『基礎を付していない』から2科目」）、外国語【英語（リーディング及びリスニング）、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1科目】</p>
学校教育教員養成課程 乳幼児教育コース		<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接によります。</p>	<p>(注4) 「基礎を付した科目」とは、物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎を指します。</p> <p>(注5) 「基礎を付していない科目」とは、物理、化学、生物、地学を指します。</p>
学校教育教員養成課程 特別支援教育コース		<p>学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文、面接及び大学入学共通テスト【科目については（注2）】によります。</p>	<p>(注6) 出願の時期は、11月上旬を予定しています。</p>
養護教諭養成課程		<p>大学入学共通テストを免除し、学校長からの推薦書、調査書、志望の理由（注1）、小論文及び面接によります。</p> <p>【面接】 保健に関する口頭試問を含みます。</p>	

学部・学科	推薦要件	選抜方法	備考
理学部 基礎化学学科	<p>1 学校推薦型選抜推薦入試の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じ。） 推薦できる者の数は、1校につき1名とします。</p> <p>2 推薦対象者 以下の各条件を満たす者としてします。 (1) 令和3年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者 (2) 高等学校において化学（又は相当する科目）及び物理（又は相当する科目）を既修又は履修見込みの者 ※ただし、「化学基礎」・「物理基礎」は含みません。 (3) 化学に対する興味と強い学習意欲を持ち、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p><出願上の留意事項> (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、面接及び大学入学共通テスト3教科5科目【数I・数A、数II・数B、化学、（物理、生物、地学）から1、外国語【英語（リーディング及びリスニング）】】によります。</p> <p>【志望の理由】 数ある大学の化学系学科の中から、なぜ埼玉大学の基礎化学科を志望するかについて明確に書いてください。加えて、これまでの理科に関する研究や勉学の活動の具体例を挙げつつ、化学についての興味・関心・学習意欲について自己アピールしてください。研究や勉学の活動とは、学校や課外活動での理科実験やレポート作成、科学系の部活動、グループ又は個人の自由研究や課題研究、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）における研究などを含みます。「志望の理由」は面接の際の資料とします。</p>	<p>(注) 出願の時期は、11月上旬を予定しています。</p>
工学部 環境社会デザイン学科	<p>1 学校推薦型選抜の対象となる高等学校及び推薦数 全国の国公立高等学校（中等教育学校の後期課程並びに高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を含む。以下同じです。） 推薦できる者の数は、1校につき2名以内とします。</p> <p>2 推薦対象者 以下の各条件を満たす者としてします。 (1) 令和2年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者 (2) 調査書中、学習成績概評がB以上で、理数系（物理、数学）及び英語の成績が優れている者 (3) 物理の実験や課題研究等に興味を持ち、工学部環境社会デザイン学科の学生として適性を有する者</p> <p><出願上の留意事項> (1) 国公立大学の学校推薦型選抜へ出願することができるのは、1つの大学・学部です。 (2) 学校推薦型選抜に推薦された志願者は、国公立大学の「前期日程」・「後期日程」にも出願し、受験することができます。ただし、学校推薦型選抜の合格者で入学手続をした場合は、「前期日程」・「後期日程」を受験しても合格者とはなりません。</p>	<p>学校長からの推薦書、志望の理由、調査書、小論文、面接及び大学入学共通テスト[3教科4科目]【数I・数A、数II・数B、外国語【英語（リーディング及びリスニング）】、物理】によります。</p> <p>大学入学共通テストの外国語（英語）の受験を必須とします。</p> <p>英語の評価は、大学入学共通テストの成績若しくは、実用英語技能検定試験（英検）、TOEIC（IPを含む）、TOEFL（iBT）の結果を大学入学共通テストの成績に換算し、最も高い得点の成績を合否判定に用います。（注1）</p> <p>【志望の理由】 工学部環境社会デザイン学科を志望する理由を自由に書いてください。面接の際の資料とします。</p>	<p>(注1) 英語民間試験の成績は、出願時までの2年以内に受験し取得したスコアに限ります。</p> <p>(注2) 出願の時期は、11月上旬を予定しています。</p>

学部・学科	募集要件	選抜方法	備考
経済学部 経済学科	<p>出願できる者は、次の各条件を満たす者とします。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和3年4月から令和4年3月までに卒業又は卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(2) 調査書中、全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>(3) 次のいずれかの英語民間試験で、下記以上のスコアを取得した者(注1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケンブリッジ英語検定 140 ※リングスキルを含みます ・実用英語技能検定 1950 ・GTEC (Advanced, Basic, CBT) 960 ※4技能オフィシャルスコアに限りません ・IELTS (アカデミック・モジュール) 4.0 ・TEAP 225 ・TEAP CBT 420 ・TOEFL iBT 42 ・TOEIC L&R / TOEIC S&W 1150 <p><出願上の留意事項></p> <p>本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選抜で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願できます。</p>	<p>入学者の選抜は、自己推薦書(志望の理由を含みます)、調査書、小論文、面接及び大学入学共通テストによります。</p> <p>第1次選抜及び最終選抜を実施します。</p> <p>第1次選抜は、自己推薦書(志望の理由を含みます)、調査書、小論文及び面接の成績により選抜します。</p> <p>最終選抜は、第1次選抜の合格者に対して、大学入学共通テスト(注2)の成績により選抜します。</p> <p>大学入学共通テストの教科科目指定は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語(近代以降の文章のみ利用します) ・地理歴史又は公民[「世界史B、日本史B、地理B、『倫理、政治・経済』」の4科目から1科目(ただし2科目受験のときは第1解答科目の成績を採用します)] ・外国語[英語(リーディング及びリスニング)] ・数学(「数学I・数学A」、 「数学II・数学B」の2科目必須) 	<p>(注1) 英語民間試験の成績は、出願時までの2年以内に受験し取得したスコアに限りません。</p> <p>(注2) 大学入学共通テストの4教科(国語、地理歴史又は公民、外国語、数学)のうち高得点3教科の合計得点率が7割以上の者を合格とします(3科目のみの受験でも可)。</p> <p>(注3) 第1次選抜の実施時期は11月中旬を予定しています。</p> <p>(注4) 出願の時期は、11月上旬を予定しています。</p>
理学部 生体制御学科	<p>出願できる者は、次の各条件を満たす者とします。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和3年3月に卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(2) 高等学校等において生物(又は相当する科目)を既修又は出願時に履修中の者 ※ただし、「生物基礎」は含みません。</p> <p><出願上の留意事項></p> <p>本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選抜又は第2次選抜で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願できます。</p>	<p>入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、以下の方法により行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願者が一定数を超えた場合には、出願時に提出された調査書、志望理由書及び活動報告書により第1次選考を実施し12名を選考します。 ・受験者(第1次選考実施の場合は、合格した受験者)は、埼玉大学構内で行われる講義を2回受講し、毎回の講義終了時に課題を与えられる課題に対するレポートを翌週までに提出します。毎回の講義終了後、理解力を知るため、小テスト(20分程度)を行いません。 ・選抜は、出願時に提出された志望理由書、活動報告書、調査書、毎回の講義終了時のテスト、課題に対し提出されたレポート及び11月中旬に行います面接(生物学、英語の口頭試問を含みます)を総合して行います。 	<p>(注1) 選抜の時期は、講義の受講を10月、面接は11月中旬とします。</p> <p>(注2) 出願の時期は、9月上旬を予定しています。</p>
工学部 情報工学科	<p>出願できる者は、次の各条件を全て満たす者とします。</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校の後期課程を、令和3年3月卒業見込みの者で、合格した場合に入学を確約できる者</p> <p>(2) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における理数系の成績(調査書中、数学(数I、数II、数A、数B、又は数I・数II・数A・数Bの内容を含む科目)と理科の評定平均値)の平均が4.3以上であり、かつ数IIIの内容を含む科目及び物理の内容を含む科目を既修又は出願時に履修している者</p> <p>(3) 高等学校又は中等教育学校の後期課程における調査書中、学習成績概評がB以上の者</p> <p><出願上の留意事項></p> <p>本総合型選抜に出願した場合、他の総合型選抜及び学校推薦型選抜へ出願することはできません。ただし、総合型選抜に出願し、第1次選抜又は第2次選抜で不合格となった場合には、他の総合型選抜あるいは学校推薦型選抜に出願できます。</p>	<p>入学者の選抜は、大学入学共通テストを免除し、以下の方法により行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願者が20名を超えた場合には、出願時に提出された志望の理由及び調査書により第1次選考を実施し20名を選考します。 ・受験者(第1次選考実施の場合は、合格した受験者)は、埼玉大学構内で行われる講義(1時間30分)を3回受講し、毎回の講義終了時に与えられる課題に対するレポートを翌週までに提出します。また、毎回の講義終了後、理解力を知るため、小テスト(20分程度)を行いません。 ・選抜は、出願時に提出された志望の理由、調査書、毎回の講義終了時の小テスト、課題に対し提出されたレポート、及び11月中旬に行います面接(英語、数学の口頭試問を含みます。)により総合して行います。 	<p>(注1) 選抜の時期は、講義の受講を10月、面接は11月中旬とします。</p> <p>(注2) 出願の時期は、9月上旬を予定しています。</p>

学部・学科	出願資格	選抜方法	備考
<p>教養学部</p>	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、外国において最終の学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、かつ、次のいずれかに該当するものとします。</p> <p>(1) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を令和2（2020）年4月1日から令和4（2022）年3月31日までの間に修了した者及び修了する見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの（学校教育法施行規則第150条第1号）</p> <p>(2) 外国において次の資格のいずれかを令和2（2020）年から令和4（2021）年に取得した者</p> <p>① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(4) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格</p> <p>(3) 国際的な評価団体（WASC, ACASI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた外国に所在する教育施設において、高等学校に対応する課程で2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程を、令和2（2020）年4月1日から令和3（2021）年3月31日までの間に修了した者及び修了する見込みの者</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、成績証明書〔日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)]に在籍したことのある者は成績証明書も提出すること。〕、在籍証明書(在籍した外国の学校のそれぞれの学校長が作成したもの。)、学力検査及び面接によります。</p> <p>学力検査（一般選抜前日程と同一問題）：英語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕</p>	
<p>工学部 機械工学・システムデザイン学科 電気電子物理工学科 情報工学科 応用化学科 環境社会デザイン学科</p>	<p>[注1] 上記(1)の「これに準ずる者で文部科学大臣の指定したものの」は、次のとおりです。</p> <p>ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同程度の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に令和2（2020）年又は令和3（2021）年に合格した者で、18歳に達したものと及び令和4（2022）年3月31日までに18歳に達するもの（昭和56年文部省告示第153号第1号）</p> <p>イ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を令和2（2020）年4月1日から令和3（2021）年3月31日までの間に修了した者及び修了する見込みの者（昭和56年文部省告示第153号第3号）</p> <p>[注2] 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなされません。</p> <p>[注3] インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の外国の教育機関出身者は、出願が認められない場合があるので、必ず出願前（できるだけ早い時期）に、アドミッションセンター（入試課）までお問い合わせください。</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、成績証明書〔日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)]に在籍したことのある者は成績証明書も提出すること。〕、在籍証明書(在籍した外国の学校のそれぞれの学校長が作成したもの。)、学力検査及び面接によります。</p> <p>学力検査（一般選抜前日程と同一問題）：数学〔数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B〕※数Bは「数列」と「ベクトル」を出題範囲とします。</p>	

学部・学科		出願資格	選抜方法	備考
経済学部 (夜間主 コース) (社会人選 抜)	経済学科	次の条件を満たす者とします。 大学入学資格のある者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者で、令和4年4月1日現在で満年齢が23歳以上の者	大学入学共通テストを免除し、小論文及び面接によります。	

学部・学科	出願資格	選抜方法	備考
教養学部	<p>1 日本の国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除きます） (注1) 日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者及び令和4(2022)年3月卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。 (注2) 日本国籍と外国籍の両方を持っている者(二重国籍)は、この選抜に出願できません。</p> <p>2 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(留学等)を有する者で、次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和4年(2021)年3月31日までに修了見込みの者</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験(日本語、総合科目、数学コース1): 出題言語は、日本語、英語どちらでも可、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可</p> <p>学力検査(一般前期日程の入学志願者と同じ試験)</p> <p>面接</p>	
経済学部 (昼間コース) 経済学科	<p>(2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。)に合格した者で、令和4(2022)年3月31日までに18歳に達する者 ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了した者 ③ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 ④ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者 ⑤ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。)と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者</p> <p>(3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>(4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>(5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>(6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジュネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者</p> <p>(7) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC, ACSL, CIS)の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者</p> <p>3 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験した者</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験: 出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可 文系・理系どちらを選択しても可 文系: 日本語、総合科目、数学(コース1又はコース2) 理系: 日本語、理科(3科目のうち2科目選択)、数学(コース1又はコース2)</p> <p>第1次試験 小論文(外国人留学生用試験) 第2次試験 面接(第1次試験合格者のみ)</p>	
教育学部 学校教育教員養成課程 小学校コース 教育学専修 心理・教育実践学専修 言語文化専修 国語分野 英語分野 社会専修 自然科学専修 算数分野 理科分野 生活創造専修 家庭科分野 中学校コース 言語文化専修 国語分野 英語分野 社会専修 自然科学専修 数学分野 理科分野 生活創造専修 家庭科分野 乳幼児教育コース 特別支援教育コース	<p>(注) 教養学部、経済学部、工学部志願者は、更に以下の条件を満たす必要があります。 ① 教養学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が300点以上 ② 経済学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が280点以上、総合科目又は理科(3科目のうち2科目選択)と数学(コース1又はコース2)の合計得点が280点以上 ③ 工学部機械工学・システムデザイン学科、応用化学科及び環境社会デザイン学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が270点以上、理科(志望する学科が指定する2科目)の合計得点が120点以上、数学(コース2)の得点が120点以上 ④ 工学部電気電子物理工学科及び情報工学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(物理と化学又は生物)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験: 出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可 文系・理系どちらを選択しても可 文系: 日本語、総合科目、数学(コース1又はコース2) 理系: 日本語、理科(3科目のうち2科目選択)、数学(コース1又はコース2)</p> <p>学力検査(一般前期日程の入学志願者と同じ試験※)</p> <p>面接 教育学専修は教育と社会に関する口頭試問及び、日本語文献を読む力に関する口頭試問を含む。 国語分野は国語に関する口頭試問を含む 英語分野は英語に関する口頭試問を含む 算数分野及び数学分野は数学に関する口頭試問を含む。 理科分野は理科に関する口頭試問を含む。 家庭科分野は家庭科に関する口頭試問を含む。</p>	<p>※小学校コース志願者の学力検査受験科目は、以下の通りです。</p> <p>教育学専修、心理・教育実践学専修、言語文化専修国語分野及び英語分野、生活創造専修家庭科分野…小学校コース文系の外国語</p> <p>社会専修…中学校コース社会専修の小論文</p> <p>自然科学専修算数分野…小学校コース理系の数学</p> <p>自然科学専修理科分野…小学校コース理系の理科</p>
学校教育教員養成課程 小学校コース 芸術専修 音楽分野 図画工作分野 中学校コース 芸術専修 音楽分野 美術分野 身体文化専修 保健体育分野	<p>(注) 教養学部、経済学部、工学部志願者は、更に以下の条件を満たす必要があります。 ① 教養学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が300点以上 ② 経済学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が280点以上、総合科目又は理科(3科目のうち2科目選択)と数学(コース1又はコース2)の合計得点が280点以上 ③ 工学部機械工学・システムデザイン学科、応用化学科及び環境社会デザイン学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が270点以上、理科(志望する学科が指定する2科目)の合計得点が120点以上、数学(コース2)の得点が120点以上 ④ 工学部電気電子物理工学科及び情報工学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(物理と化学又は生物)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験: 出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可 文系・理系どちらを選択しても可 文系: 日本語、総合科目、数学(コース1又はコース2) 理系: 日本語、理科(3科目のうち2科目選択)、数学(コース1又はコース2)</p> <p>実技検査(一般前期日程の入学志願者と同じ試験)</p> <p>面接</p>	
学校教育教員養成課程 小学校コース 生活創造専修 ものづくりと情報分野 中学校コース 生活創造専修 技術分野		<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験: 出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可 文系・理系どちらを選択しても可 文系: 日本語、総合科目、数学(コース1又はコース2) 理系: 日本語、理科(3科目のうち2科目選択)、数学(コース1又はコース2)</p> <p>面接 ものづくりと情報分野及び技術分野は、ものづくりと情報及び技術に関する口頭試問を含む。</p>	

学部・学科	出願資格	選抜方法	備考
理学部 数学科	<p>1 日本の国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除きます） (注1) 日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者及び令和4（2022）年3月卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。 (注2) 日本国籍と外国籍の両方を持っている者（二重国籍）は、この選抜に出願できません。</p> <p>2 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(留学等)を有する者で、次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和4年（2021）年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。）に合格した者で、令和4（2022）年3月31日までに18歳に達する者 ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了した者 ③ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 ④ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者 ⑤ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験：出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可日本語、理科（3科目のうち2科目選択）、数学（コース2）</p> <p>学力検査(一般後期日程の入学志願者と同じ試験)</p> <p>面接</p>	
理学部 物理学科	<p>(2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。）に合格した者で、令和4（2022）年3月31日までに18歳に達する者 ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了した者 ③ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 ④ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者 ⑤ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験：出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可日本語、理科(物理と(化学,生物から1)の計2)、数学（コース2）</p> <p>学力検査(一般後期日程の入学志願者と同じ試験)</p> <p>面接</p>	
理学部 基礎化学科	<p>(3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>(4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>(5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>(6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジュネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者</p> <p>(7) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSL, CIS）の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験：出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可日本語、理科(化学と(物理,生物から1)の計2)、数学（コース2）</p> <p>学力検査(一般後期日程の入学志願者と同じ試験)</p> <p>面接</p>	
理学部 分子生物学科	<p>3 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験した者</p> <p>(注)教養学部、経済学部、工学部志願者は、更に以下の条件を満たす必要があります。 ① 教養学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が300点以上 ② 経済学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が280点以上、総合科目又は理科(3科目のうち2科目選択)と数学(コース1又はコース2)の合計得点が280点以上 ③ 工学部機械工学・システムデザイン学科、応用化学科及び環境社会デザイン学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が270点以上、理科(志望する学科が指定する2科目)の合計得点が120点以上、数学(コース2)の得点が120点以上 ④ 工学部電気電子物理工学科及び情報工学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(物理と化学又は生物)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験：出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可日本語、理科（3科目のうち2科目選択）、数学（コース2）</p> <p>学力検査(一般後期日程の入学志願者と同じ試験)</p> <p>面接</p>	
理学部 生体制御学科	<p>(注)教養学部、経済学部、工学部志願者は、更に以下の条件を満たす必要があります。 ① 教養学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が300点以上 ② 経済学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が280点以上、総合科目又は理科(3科目のうち2科目選択)と数学(コース1又はコース2)の合計得点が280点以上 ③ 工学部機械工学・システムデザイン学科、応用化学科及び環境社会デザイン学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が270点以上、理科(志望する学科が指定する2科目)の合計得点が120点以上、数学(コース2)の得点が120点以上 ④ 工学部電気電子物理工学科及び情報工学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(物理と化学又は生物)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験：出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可日本語、理科(化学と生物の計2)、数学（コース2）</p> <p>学力検査(一般後期日程の入学志願者と同じ試験)</p> <p>面接</p>	

学部・学科	出願資格	選抜方法	備考
工学部	<p>1 日本の国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除きます） (注1) 日本の国籍を有しない者であっても、日本の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)を卒業した者及び令和4（2022）年3月卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。 (注2) 日本国籍と外国籍の両方を持っている者（二重国籍）は、この選抜に出願できません。</p> <p>2 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(留学等)を有する者で、次のいずれかに該当する者 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和4年（2021）年3月31日までに修了見込みの者 (2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定した者 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。下記において同じ。）に合格した者で、令和4（2022）年3月31日までに18歳に達する者 ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程又は研修施設の課程等を修了した者 ③ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものである等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 ④ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものに限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者 ⑤ 我が国において、高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における12年の課程を修了したとされるものを除く。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験：出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可日本語、理科(物理と(化学、生物から1)の計2)、数学(コース2)</p> <p>面接</p>	
応用化学科	<p>(3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>(4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>(5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>(6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者</p> <p>(7) 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験：出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可日本語、理科(物理と化学の計2)、数学(コース2)</p> <p>面接</p>	
電気電子物理工学科 情報工学科 環境社会デザイン学科	<p>3 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験した者</p> <p>(注)教養学部、経済学部、工学部志願者は、更に以下の条件を満たす必要があります。 ① 教養学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が300点以上 ② 経済学部志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解)の合計得点が280点以上、総合科目又は理科(3科目のうち2科目選択)と数学(コース1又はコース2)の合計得点が280点以上 ③ 工学部機械工学・システムデザイン学科、応用化学科及び環境社会デザイン学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が270点以上、理科(志望する学科が指定する2科目)の合計得点が120点以上、数学(コース2)の得点が120点以上 ④ 工学部電気電子物理工学科及び情報工学科志願者においては、「日本留学試験」の日本語(読解、聴解・聴読解、記述)の合計得点が320点以上、理科(物理と化学又は生物)の合計得点が140点以上、数学(コース2)の得点が140点以上</p>	<p>大学入学共通テストを免除し、次の試験の成績及び出身学校等の成績によります。</p> <p>日本留学試験：出題言語は、日本語、令和2年6月～令和3年11月実施分利用可日本語、理科(物理と(化学、生物から1)の計2)、数学(コース2)</p> <p>面接</p> <p>学力検査：数学〔教Ⅰ・教Ⅱ・教Ⅲ・教A・教B〕※教Bは「数列」と「ベクトル」を出題範囲とします。</p>	